

平成 30 年度 子育てコミュニティトーク(7)中学校

日時 10月26日(金) 午前10時から正午まで

場所 市民交流プラザミュージックルーム2

テーマ1「子どもを守るための家庭での取組について」

●学校教育部長

スマートフォン、パソコン、ゲーム機でもインターネットにつながる仕組みがあり、子どもが触れることでトラブルにつながることもあります。中学生になると、スマートフォンを持ち始める子どもたちが多くなると思います。皆さんのお子さんにはスマートフォンを持たせていますか。前回の意見交換会では、中学校のクラスで3分の2が持っているという話がありました。中学生では、無料通話アプリのトラブルをよく聞きます。また、依存も話題になっており、ゲームに夢中になってしまい機器を手放せなくなること、特別な例では、インターネットや動画投稿サイトを通して知らない人とつながり、犯罪に巻き込まれるという話も聞きます。実際に起きてしまったトラブル、どうやって子どもたちを守るのか、皆さんのお話をお聴きしたいと思います。スマートフォンを持たせている場合、持たせたきっかけ、約束事、困っていること。持たせていない場合、いつ持たせるか、気を付けようと考えていることなどもお伺いしたいです。

●中学生、小学校中学年の子がいます。どちらもスマートフォンは持っていません。上の子は通話だけできる携帯電話を、習い事の送迎のために持たせました。一人でいるのが平気な子なので、機器は習い事のカバンに入りっぱなしです。ゲームの通信の方が多いかと感じます。持たせる時期は高校からで良いと、本人も言っています。今は、コミュニケーションツールとして持ちたい子が多いようですが、うちの子はゲームで持ちたいようです。ただ、すごく欲しいというわけではないです。実際、中学校でスマートフォンを持っている子が多く、「持っていないのはたぶん自分だけだと思う」と言っていました。学校で機器を持たせる際の約束をしたか、という話し合いをしました。利用する時間を決める、夜9時または10時まで、自分の部屋には持ち込まない、リビングでの使用のみ、ゲームのインストールで有料のものは禁止、SNS投稿はしない、パスワードは親に教える、食事中は使用しない、などが多かったです。学校からも夜10時まで、と便りが来ましたが、ゲームと一緒に通信している友達を守っていないようです。学校で徹底して決められれば良いのではと思います。以前、市で機器の扱いの取り決めをしているところがあると知りましたが、市外の子とのやり取りで違いもあり、うまくいかないようです。

●学校教育部長

今はほとんどの大人がスマートフォンを持っている時代です。昔と比べ、機器の扱いのハードルが低くなっているように感じます。お話しいただきましたとおり、ゲーム機でも他の人とつながることができます。学校の友達だけでなく、知らない人とつながることができます。

●大学生の子が2人、中学生の子が1人います。上の子が大きいので、スマートフォンを持っていることが当たり前の環境です。中学校に入る時に制限を厳しく設定しているスマートフォンを持たせました。夜は9時30分まで、パスワードは親に教えるように約束をしていました。小学校では半分、中学校で3分の2以上の子が持っています。女の子は無料通話アプリがトラブルになりやすいです。既読したら必ず返信を、既読スルーの反応など、エスカレートしています。定期

テストそっちのけで、依存症になりつつある子がいます。部屋にこもって使っていて、何時間使っているのか分からないそうです。男の子は夜中にゲームをしていて学校に遅刻をするなど、ひどい状態まで陥っているお子さんもいました。先生にも話しましたが、先生がどうこうできる問題ではありません。機器の使用はあくまでも家庭内で決めることだと思います。親の意識改革をしないとイケません。学校にそれを委ねることはできないと思います。担任の先生は、依存症率が分かる利用状況 10 項目を生徒に配布したようです。目に見えるアンケート調査は必要で、親に還元しないとイケないと思います。PTAの広報紙など、お子さんが保護者に渡していないことがあります。部屋にも入れない、隔離した世界でスマートフォンを使わせることは危ないです。また、SNSなど、女の子と会話していると思って、会ったらおじさんだったことがあるそうです。インターネットのフィルターを掛けていると思いますが、それをかいくぐるものが増えていきます。しかし今は、PTA役員の連絡が無料通話アプリです。大人がやっているものを、子どもにダメとは言ふことは難しいです。大人の中でもトラブルがあるくらいなので、全世代で共有していかなければならないと思います。

●学校教育部長

現実問題として危険なことがあったり、機器にはまっている子がいるという実態が分かりました。ありがとうございます。

●無料通話アプリは対象への情報が早く回りますし、読まれたことを確認することができます。良い面もあります。大人も勉強しながら考えないとイケないと思います。

●子どもの方が操作方法など、使い方の理解が進んでいます。

●子どもに聞いて教えてもらうことがあります。子どもと同じ機種を大人が持っていないと、子どもの理解が早くて大人が付いていけなくなります。PTAで大人のスマートフォン教室をやるとういと思います。

●学校教育部長

大人も連絡は無料通話アプリを使うことが多いと思います。既読スルーなどのトラブルはあります。夜何時までと約束していても、メッセージが来たら返さないといけない、やめることができない。朝起きるとすごい量のメッセージが来ていたと聞いたことがあります。大人がどうやって止めさせるのか。市で使用時間を決めるということもありますが、各家庭で状況は違うと思います。PTAで作った資料がありますので、参考にしてほしいと思います。

●社会教育部長

資料「ケータイ・スマホのかかわり方」で誓約書の見本を付けています。また、PTAで講習をすることも良いと思います。家庭でのルール作りが大切になります。

●親同士のルール作りも大切になると思います。夜遅くまでスマートフォンをいじっているなど。

●学校教育部長

子どもに注意するには、説得力がなくなりますよね。

●電車の中でも皆スマートフォンを操作しています。

●外食したときなど、夫は料理が出てくるまでスマートフォンをいじっています。

●子どもは親の背中を見て育っているので、そういったことを良いと思ってしまいます。

●学校教育部長

食事中は使わないなど。大人がどう関わっていくのか、PTAなどでも学ぶ機会があるのかもしれない。

●上の子は大きくて、下の子が中学生です。環境的には小さいころから機器を持たせていました。上の子たちは塾の送迎のための連絡ツールとして、下の子は塾に行っていないが持たせていました。ほかの方の話では、中学生からという方が多いです。本当は高校生から良かったのですが、PTAの連絡が無料通話アプリで親がスマートフォンを持つ際、子どもにも持たせたという話もあります。約束事としては、小学生までは夜9時まで。中学生は夜10時まで。使用はリビングのみ。我が家では、中学生に入ってから寝室が別になり、いつの間にかベッドの枕元にスマートフォンのコードが繋がっていて、ロックも解除できなくなっていました。解除しても、無料通話アプリの相手の名前が外国語表示でした。相手は日本人ですが、知らない子、友達の友達かなど。ゲームは私のスマートフォンでやっていて、課金はしていません。キーボードの設定が外国語になっていました。好きで、勉強したようです。子どもの方が操作の理解が早いです。逆に、親が教えて、というパターンです。困っていることは、知らない友達、どこの誰だか分からない人とのやり取りがあることです。ただ、親が甘いためか、突っ込んでいけません。スマートフォンを見る時間はそんなに長くはありませんが、学校から帰ってきて、タブレットで動画を見えています。ゲーム通信はしていません。機器の利用に時間を取られることは問題かと思えます。

●学校教育部長

動画を中学生は結構見ますよね。思春期のお子さんで難しい時期になるかと思えます。好みとか趣味だとか、機器は上手に使えば様々なことを知る機会にもつながります。

●ネットショッピングのパスワードを解除したら、手早く購入手続きをされてしまったことがありました。

●学校教育部長

親がスマートフォンの機能を知っていないといけません。教訓ですね。

●中学校に入ってすぐの体育祭の連絡網が無料通話アプリだったようで、懇談会の時にその話を聞きびっくりしました。担任の先生に聞いたら、「体育祭が終わったらなくなります」と言われました。グループから抜けなさいと言いましたが、先輩方の縦割りでグループを作ると言われたら、嫌とは言えない状況だったようです。

●部活の連絡網が無料通話アプリのことがあります。

●部活の連絡は親の無料通話アプリでやり取りをしています。

●学校教育部長

基本的に、学校から無料通話アプリの連絡はしていません。電話の連絡網を作りにくいので、先生から代表に連絡して、そこから無料通話アプリで回していることがあるようです。スマートフォンを全員が持っているわけではないと、学校は認識しています。

●高校生、中学生、未就学の子が2人です。家族の助けがないと大変なので、中学生の子にも手伝いをしてもらっています。最近までは、時間があるときは機器を使って良いと、無制限で渡していました。部活から帰ってくると機器をずっといじっていたので、夜9から10時までしかできないように設定しました。無制限の時は、怒られることがありイライラしていることが多かったです。機器の使用はリビング。利用は1時間だけなので、リビングで充電して寝なさいと言っています。ロックをしていたので、ロックはしないように言いました。ルールを作ると、親から注意されることがなくなり、イライラしなくなりました。慣れたようで、様子が変わったなと思います。問題としては、「子どものスマートフォンに不適切な写真が送られているので確認させてほしい」と学校の先生から連絡がありました。他の子から送られてきた写真を他の子に転送してい

たようで、当事者の子が傷ついていると。気軽に送り、仲間内で盛り上がってしまったようです。スマートフォンのやり取りで、人が傷つくことがあることを刻々と話しました。使い方を教えな
いといけないなと感じた一件です。

●学校教育部長

個人情報、自分のことには気を付けますが、ほかの子となると違う場合があります。誹謗中傷のつもりはないけれども、人を傷つけてしまうことがあります。きちんと教えてあげることが大事です。ルールを守ることで、正しい使い方ができていることが良いなと思います。

●基本的に、高校生でスマートフォンを持たせたいと考えていました。小学校6年生でクラスの周りが機器を持ち始め、それで卒業式の写真を撮っていました。部活の連絡として、部員間で無料通話アプリのやり取りが必要なのかなと思っていました。塾に行き始め、スマートフォンで使える問題集のアプリが用意されていたので、反対していた夫を説得して、スマートフォンを持たせることになりました。持たせた頃は、夜10時までの約束でしたが、だんだん塾も増えてきて、夜10時30分まで良いことにしました。無料通話アプリのメッセージが来るので、子どもは気にします。時間に制限があることを友達にも伝えるようにしました。メッセージのやり取りは減りましたが、グループはたくさんあって、抜けられないようです。今は落ち着いて、約束を守れるようになりました。最近、部活の発表の様子を、SNSに名前付きで載せられてしまいました。学校でも問題になりました。ダンスの動画を投稿するサイトを良く見えています。自分は投稿していませんが、投稿されたものの感想を出しています。

●学校教育部長

一度公開されてしまったものは消すことが難しいです。動画の投稿サイトは顔がはっきり分かります。「いいね」が知らない人から送られてきて、つながることがあります。

●こども未来部長

褒めるようなコメントをして、逆の考えの知らない人に誹謗中傷されてしまうこともあります。良かれとしてやったことが、人とつながり、怖いことになることも教えていかないといけません。

●子どもがどう考えているのか分かりません。制限をかけてはいますが。

●制限に抜け道があります。

●学校教育部長

大人が良く知っていないと、子どもに教えることができません。

●高校生、中学生の子どもがいます。スマートフォンは高校に入ってからと徹底しました。下の子は、ゲームが好きで、オンラインで会話をしながらゲームをします。また、動画を見たいのでスマートフォンを持ちたいと言っていますが、携帯電話で満足しているようです。世の中に機器が普及しているので、それを制限することは難しいと思います。それよりも、親子関係や、人間としてどう子どもを育てるのが一番重要かだと思います。子ども自身で良し悪しが判断できるまで、大人がどのように対処するのが大事だと思います。中学生まで、ある程度は間違いを起こしても良いと考えています。それが逆に学びになります。写真の話は、友達にも同じことがありました。小学校から一緒の中学校になった子が、友達の小学生時代の様子や卒業アルバムの写真をほかの友達に流して、トラブルになりました。該当する子どもたちを集めて話し合わせ、被害を受けた子どもの親に電話をさせたそうです。中学校の先生の対応が良かったと思います。上の子は新しい環境に慣れるまで時間が掛かりますが、高校でスマートフォンを持たせたとき、それで周りとのコミュニケーションをとることができました。すぐに友達ができて、楽しく過ごせたよ

うです。そういった意味ではスマートフォンは悪いものではありません。上の子はよし悪しが判断できるようになったようで、私に来た不審なメールにも対応できます。下の子はまだ悩んでしまうようです。

●学校教育部長

スマートフォン自体は便利な機器で、今の時代なくてはならないものだと感じます。どう使い方を教えるのか。本質は、親子関係が大事であるという貴重な御意見をいただきました。ありがとうございます。

●教育長

学校としても、大人が何をやらなければならないのか考えてきました。機器のことをきちんと知らないといけません。機器の扱いは、子どもの方が早く覚えることができます。ただ、利用するにあたって、便利な点と危険な点があることを大人が教えないといけません。文化会館で講演会を実施します。実際に起こった恐ろしい話をしてくれます。教師だけでなく、保護者の方にも話を聞いてほしいです。問題意識を持っている方は、行こうと思われたいと思いますが、漫然と子どもに機器を持たせた方はこういったものにも関心を持ちません。学校や家庭教育、PTAで講座をやったから良いのではなく、繰り返し実施することが必要になります。大人だけでなく、子どもに対する指導も、繰り返し続けていきます。学校で生徒対象に実施している教室に、保護者の方も参加できるものがありますので、親子で情報共有をしていただきたいと思います。本日の話を聞かせていただき、手を打たないといけないと思いました。具体的に何をするのかは知恵を出し合って考えていきたいです。

テーマ2「地域での子育て支援について」

●教育総務部長

近年、共働き世帯や核家族世帯が増え、地域での交流や隣近所のふれあいが少なくなったと言われています。

こういったことを背景に、平成24年に「厚木市子ども育成条例」を策定しました。その条例では、地域全体が子育て家庭を見守る、大きな家族になれるよう、目配り声掛けなどを通じて子どもの育ちを支えることの大切さを考えています。地域では、青少年健全育成関係団体や自治会など、様々な活動が盛んに行われています。教育委員会でも、公民館を拠点として地域ぐるみ家庭教育支援を行うなど、地域で子どもを育てるための意識を高める取組も行っています。

地域で子育てをして、地域の方に顔を覚えていただくだけでも安心、安全につながりますし、災害時には助け合うことができます。

地域との関係を深め、地域で子育てをしていただきたいのですが、皆様が地域の行事等にどのように参加されているのか、参加されていない場合、どういった理由で参加できないかをお聞きしたいと考えています。

●自治会に入っています。引っ越してきて、近所とも円滑な関係を持ちたいと考え、自治会に入りました。地域の太鼓連のお手伝いをしています。今年、子ども会が無くなるかどうか、というところです。子どもにとっては習い事とで選べますが、人数が集まりません。小さいお子さんを連れての子ども会活動、自治会の役員決めは大変なので無くなってってしまうのかと思います。

●教育総務部長

地域によって、様々な状況があるようです。

●自治会に入っています。子ども会は、子どもが少なくなって7、8年前に無くなりました。代わりに、どんぐりクラブという親と子で参加する活動があります。流しそうめんなど、年3回、できる人だけでやっていて、3、4年続いています。子どもたちも楽しいようで、いろいろな地域の子を連れてきます。

●教育総務部長

工夫もして良いですね。

●自治会に入っています。自治会長も気さくで、よく家まで来て声を掛けてくれます。新しい住宅地なので、近所の人も自治会に入っています。小さいお子さんの家庭が多くて、子ども神輿は近所皆で出る感じです。高校生の上の子は出るのが嫌だと言いますが「あなたたちが運営の主体になるんだよ」と最近話しています。今年、地域の小学校、中学校の関係者の集まりで、地域との関わり方をどうすればよいかという議題で、「若い人が担っていく」という話を聞き、子どもたちに教えています。そうやって声を掛けて続けていこうと考えています。

●教育総務部長

地域で、お兄さん、お姉さんたちが子育てに協力してくれることはとても良いことだと思います。

●子ども会は6年前に無くなりました。青少年健全育成会が子どもたちを集めて、年3回ぐらい行事をやっています。小学校区でも、子どもたちの数が減っています。中学生になると、地域の行事に参加することは時間的にも難しくなると思います。小さい頃にどれだけ地域と接してきたかによって、成人したころ、地元のことを思い出して戻って来るのではないのかと思います。小さい頃の地域との関わり方が大事だと思います。人数も少ないですし、やっている方も大変だと思いますが、地道に、役員の方は頑張ってくれています。私も、活動に自分の子どもが参加していなくても、地域の行事に参加しています。自分の子どもだけではなく、他の子も見ることができればと思い参加しています。活動1年目なので地域行事の皆勤を狙っています。

●こども未来部長

子どもの頃の楽しい思い出があると、それを還元しようという気持ちになりますよね。そういう思いがないと地元への愛着が沸かないです。周りの大人が一生懸命やらないと、という気持ちになりますよね。

●自治会には入っています。7割が高齢の方で、若い人がいません。子どもが少なくなっていて、2年前に子ども会会長をしていましたが、子ども会存続の危機を感じています。でも、地域のお祭りなど昔から続いているものはやっていきたいと思っているので、役員に負担が掛かりながらやっています。6年生の子どもが減ると、行事の運営は難しくなるので、縮小、見直しをしています。自治会役員とボランティアの方と一緒にやっていて、子ども会を無くすことは考えられません。やはり、地域の方と触れ合う機会は大事です。子どもが小学校に通っている時は、セーフティベストを着ながら、犬を散歩させていました。他の方ともあいさつができますし、知らない子どもも犬を触りに声を掛けてくれます。昔は、登校時に近所の方が付いてきてくれました。その姿を見ているので、そういったつながりがすごく大事だと感じています。今ではその方を、息子が車で送迎をすることがあり、とても喜んでくれました。他の方の話では、おとなしかった子が、ジュニアリーダーを務めることによって、地域とコミュニケーションが取れてリーダーシッ

プを發揮することができたそうです。地域の方で、育児から離れた高齢者の方も、横断歩道で子どもを見守ってくれています。厚木市の良いところだと思います。PTAで見守りの際、メッシュタイプのセーフティベストがありません。夏は暑いので、メッシュタイプのベストがあると助かります。

●自治会には入るものだと思っていたので、地域で入っていない方がいることに驚きました。学校から、地域行事に参加するようにと声掛けがあります。子どもたちはお祭りの手伝いなどを行っています。核家族が多く、高齢の方と接することがないので、今までになかった価値観を知ることができる良い機会です。見守りが大事だと思う反面、朝の旗振りで子どもがあいさつを返してくれません。自分の子どもが学校に通っていない世代で、活動をしていてくれる方もいます。あいさつが返ってこないことは寂しいなと思います。やりがいをもって続けていっていただきたいので、自分の子どもには、見守りをしていてくれる方にあいさつをするように言っています。良い取組が無くならないように、子どもにも意識付けをできれば良いなと思います、

●教育総務部長

あいさつがあるだけでも、地域のコミュニケーションは円滑になりますし大事ですよ。良いお話をたくさん聞かせていただきました。ありがとうございました。

●市長

思っていたこと全てを皆さんに話していただきました。「家族の話し合い」、「子どもをどう育てるかが大事」という意見がありました。本当にそう思います。また、「見守り活動の際、子どもがあいさつをしてくれない」という意見がありましたが、声をかけ続けてください。しっかりしたお話がお伺いできて、気付かせていただくことが多くありました。ありがとうございました。

いただいた御意見は、今後の市政運営の参考とさせていただきます。ありがとうございました。